

福井県後期高齢者医療広域連合告示第24号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第243条の3第1項及び福井県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例（平成19年条例第19号）第3条第2項の規定に基づき、令和5年4月1日から令和5年9月30日までの財政状況及び令和4年度の決算の概況を、次のとおり公表する。

令和5年12月20日

福井県後期高齢者医療広域連合長 東村 新一

1 歳入歳出予算の執行の概況

(1) 令和5年度一般会計（令和5年9月30日現在）

【歳入】 (単位：円、%)

歳入区分（款）	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 分担金及び負担金	631,436,000	259,426,000	41.1
2 国庫支出金	422,000	0	0
4 繰越金	1,000	46,827,954	4,682,795.4
5 諸収入	266,000	130	0.0
合計	632,125,000	306,254,084	48.4

【歳出】 (単位：円、%)

歳出区分（款）	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 議会費	1,478,000	50,890	3.4
2 総務費	159,005,000	68,423,530	43.0
3 民生費	469,641,000	0	0
4 諸支出金	1,000	0	0
5 予備費	2,000,000	0	0
合計	632,125,000	68,474,420	10.8

(2) 令和5年度後期高齢者医療特別会計（令和5年9月30日現在）

【歳入】

（単位：円、％）

歳入区分（款）	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 市町支出金	20,662,427,000	8,074,407,524	39.1
2 国庫支出金	35,962,243,000	21,339,696,000	59.3
3 県支出金	9,296,180,000	5,533,334,000	59.5
4 支払基金交付金	43,706,785,000	18,626,190,000	42.6
5 特別高額医療費共同事業交付金	28,565,000	0	0
6 財産収入	50,000	0	0
8 繰入金	469,642,000	0	0
9 繰越金	20,000,000	2,129,142,901	10,645.7
10 県財政安定化基金借入	1,000	0	0
11 諸収入	1,652,000	54,200,307	3,280.9
合計	110,147,545,000	55,756,970,732	50.6

【歳出】

（単位：円、％）

歳出区分（款）	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 総務費	483,157,000	148,524,464	30.7
2 保険給付費	109,175,182,000	45,146,543,804	41.4
4 特別高額医療費共同事業拠出金	58,620,000	0	0
5 保健事業費	388,484,000	10,895,103	2.8
6 基金積立金	50,000	0	0
7 公債費	1,000	0	0
8 諸支出金	22,051,000	20,274,800	91.9
9 予備費	20,000,000	0	0
合計	110,147,545,000	45,326,238,171	41.2

2 財産、地方債及び一時借入金の概況

(1) 財産

- ①公有財産 令和5年9月30日現在所有なし
- ②基金 令和5年9月30日現在高
療養給付費等準備基金 1,544,671,764円

(2) 地方債 令和5年9月30日現在借入なし

(3) 一時借入金 令和5年9月30日現在借入なし

3 令和4年度の決算の概況

(1) 一般会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

(第1表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	509,538,244	503,438,938	6,099,306	1.2
歳出	462,710,290	470,558,979	△7,848,689	△1.7
差引	46,827,954	32,879,959	13,947,995	42.4

(第1表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	執行率 B/A
歳入	509,603,000	509,538,244	100.0
歳出	509,603,000	462,710,290	90.8

令和4年度の決算額は、歳入5億953万8,244円、歳出4億6,271万290円で、歳入歳出差引額は4,682万7,954円となった。この差引額は、剰余金として令和5年度に繰り越す。

また、歳入決算額と歳出決算額の予算現額に対する執行率は、それぞれ、100.0%と90.8%となった。

②歳入の状況

(第2表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 分担金及び負担金	476,347,000	93.5	469,399,000	6,948,000	1.5
2 国庫支出金	248,000	0.0	252,000	△4,000	△1.6
4 繰越金	32,879,959	6.5	33,739,830	△859,871	△2.5
5 諸収入	63,285	0.0	48,108	15,177	31.5
合計	509,538,244	100.0	503,438,938	6,099,306	1.2

※ 決算額構成比は四捨五入のため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第2表の2) 予算現額との比較

(単位：円)

歳入区分 (款)	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	収入 未済額 B-C	予算現額と 決算額との比 較C-A
1 分担金及び負担金	476,347,000	476,347,000	476,347,000	0	0
2 国庫支出金	286,000	248,000	248,000	0	△38,000
4 繰越金	32,880,000	32,879,959	32,879,959	0	△41
5 諸収入	90,000	63,285	63,285	0	△26,715
合計	509,603,000	509,538,244	509,538,244	0	△64,756

令和4年度の歳入決算額は、5億953万8,244円で、前年度決算額と比較して609万9,306円、率にして1.2%の増となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、分担金及び負担金が4億7,634万7,000円、繰越金が3,287万9,959円となっている。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、分担金及び負担金が694万8,000円増額となったことによるものである。

③歳出の状況

(第3表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 議会費	722,453	0.2	1,021,682	△299,229	△29.3
2 総務費	142,261,268	30.7	146,563,477	△4,302,209	△2.9
3 民生費	286,846,610	62.0	289,233,990	△2,387,380	△0.8
4 諸支出金	32,879,959	7.1	33,739,830	△859,871	△2.5
5 予備費	0	0	0	0	—
合 計	462,710,290	100.0	470,558,979	△7,848,689	△1.7

※ 決算額構成比は四捨五入のため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第3表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 議会費	1,483,000	722,453	760,547	48.7
2 総務費	159,496,000	142,261,268	17,234,732	89.2
3 民生費	313,744,000	286,846,610	26,897,390	91.4
4 諸支出金	32,880,000	32,879,959	41	100.0
5 予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0
合 計	509,603,000	462,710,290	46,892,710	90.8

令和4年度の歳出決算額は、4億6,271万290円で、前年度決算額と比較して784万8,689円、率にして1.7%減少した。

歳出決算額の内訳をみると、議会費が72万2,453円、職員給与費をはじめとする広域連合運営経費の総務費が1億4,226万1,268円、特別会計への繰出金である民生費が2億8,684万6,610円、市町への償還金である諸支出金が3,287万9,959円となった。また、予備費の執行はなかった。

前年度決算額と比較して減となった主な要因は、総務費が430万2,209円減額、民生費が238万7,380円減額となったことによるものである。

(2) 後期高齢者医療特別会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

(第4表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	109,500,777,959	110,356,354,885	△855,576,926	△0.8
歳出	107,371,635,058	107,576,818,660	△205,183,602	△0.2
差引	2,129,142,901	2,779,536,225	△650,393,324	△23.4

(第4表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	執行率 B/A
歳入	110,183,195,000	109,500,777,959	99.4
歳出	110,183,195,000	107,371,635,058	97.4

令和4年度の決算額は、歳入1,095億77万7,959円、歳出1,073億7,163万5,058円で、歳入歳出差引額は21億2,914万2,901円となった。この差引額は、剰余金として令和5年度に繰り越す。

また、歳入決算額と歳出決算額の予算現額に対する執行率は、それぞれ99.4%と97.4%となった。

②歳入の状況

(第5表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 市町支出金	19,687,937,751	18.0	18,743,540,622	944,397,129	5.0
2 国庫支出金	35,411,975,928	32.4	35,337,310,624	74,665,304	0.2
3 県支出金	8,794,606,610	8.0	9,086,931,294	△292,324,684	△3.2
4 支払基金交付金	41,979,525,000	38.3	41,929,918,000	49,607,000	0.1
5 特別高額医療費 共同事業交付金	38,461,499	0.0	37,270,714	1,190,785	3.2
6 財産収入	28,711	0.0	24,972	3,739	15.0
8 繰入金	598,259,610	0.6	379,698,990	218,560,620	57.6
9 繰越金	2,779,536,225	2.5	4,732,418,015	△1,952,881,790	△41.3
11 諸収入	210,446,625	0.2	109,241,654	101,204,971	92.6
合計	109,500,777,959	100.0	110,356,354,885	△855,576,926	△0.8

※ 決算額構成比は四捨五入のため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第5表の2) 予算現額との比較

(単位：円)

歳入区分 (款)	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	不納 欠損額	収入 未済額	予算現額と決 算額との比較 C-A
1 市町支出金	19,996,757,000	19,687,937,751	19,687,937,751	0	0	△308,819,249
2 国庫支出金	35,030,651,000	35,411,975,928	35,411,975,928	0	0	381,324,928
3 県支出金	9,085,829,000	8,794,606,610	8,794,606,610	0	0	△291,222,390
4 支払基金交付金	42,600,116,000	41,979,525,000	41,979,525,000	0	0	△620,591,000
5 特別高額医療費 共同事業交付金	43,518,000	38,461,499	38,461,499	0	0	△5,056,501
6 財産収入	50,000	28,711	28,711	0	0	△21,289
8 繰入金	645,157,000	598,259,610	598,259,610	0	0	△46,897,390
9 繰越金	2,779,537,000	2,779,536,225	2,779,536,225	0	0	△775
10 県財政安定化 基金借入金	1,000	0	0	0	0	△1,000
11 諸収入	1,579,000	218,415,082	210,446,625	128,676	7,839,781	208,867,625
合計	110,183,195,000	109,508,746,416	109,500,777,959	128,676	7,839,781	△682,417,041

令和4年度の歳入決算の総額は、1,095億77万7,959円で、前年度決算額と比較し

て8億5,557万6,926円、率にして0.8%の減となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、市町支出金が196億8,793万7,751円、国庫支出金が354億1,197万5,928円、県支出金が87億9,460万6,610円、支払基金交付金が419億7,952万5,000円、繰入金が5億9,825万9,610円、繰越金が27億7,953万6,225円となっている。収入未済額は諸収入において783万9,781円発生し、不納欠損額は12万8,676円となった。

前年度決算額と比較して減となった主な要因は、県からの支出金、及び繰越金が減額となったことによるものである。

③歳出の状況

(第6表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 総務費	340,428,687	0.3	312,780,352	27,648,335	8.8
2 保険給付費	103,919,899,482	96.8	102,001,459,255	1,918,440,227	1.9
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	48,378,680	0.0	45,402,092	2,976,588	6.6
5 保健事業費	261,164,809	0.2	213,508,518	47,656,291	22.3
6 基金積立金	414,382,321	0.4	881,731,291	△467,348,970	△53.0
7 公債費	0	0.0	0	0	0.0
8 諸支出金	2,387,381,079	2.2	4,121,937,152	△1,734,556,073	△42.1
9 予備費	0	0.0	0	0	0.0
合 計	107,371,635,058	100.0	107,576,818,660	△205,183,602	△0.2

※ 決算額構成比は四捨五入のため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第6表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 総務費	383,465,000	340,428,687	43,036,313	88.8
2 保険給付費	106,542,976,000	103,919,899,482	2,623,076,518	97.5
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	73,731,000	48,378,680	25,352,320	65.6
5 保健事業費	359,531,000	261,164,809	98,366,191	72.6
6 基金積立金	414,404,000	414,382,321	21,679	100.0
7 公債費	1,000	0	1,000	0.0
8 諸支出金	2,389,087,000	2,387,381,079	1,705,921	99.9
9 予備費	20,000,000	0	20,000,000	0.0
合 計	110,183,195,000	107,371,635,058	2,811,559,942	97.4

令和4年度の歳出決算の総額は、1,073億7,163万5,058円で、前年度決算額と比較して2億518万3,602円、率にして0.2%の減となった。

歳出の決算額の内訳をみると、被保険者証交付や電算処理業務委託料等の事務的経費として、総務費が3億4,042万8,687円、療養給付費や高額療養費、葬祭費、審査支払手数料等の保険給付費が1,039億1,989万9,482円、市町が実施する健康診査事業への補助金等の保健事業費が2億6,116万4,809円、保険料還付金や国・県・市町等に対する償還金等の諸支出金が23億8,738万1,079円となった。また、公債費及び予備費の執行はなかった。

前年度決算額と比較して減となった主な要因は、償還金などの諸支出金が減額となったことによるものである。